

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年4月16日～4月22日)

平成 27 年(2015 年)4 月 24 日

H E A D L I N E S

政治

PO, 世論調査でPISをリード
 ワルシャワにて第3回ポーランド・中国戦略対話を開催
 ポーランド政府, 米FBI長官の発言に反発
 コパチ首相, チェコを訪問
 スヘティナ外相, EU外務・内務合同理事会に出席
 スヘティナ外相, エストニア外相と会談
 米ミサイル防衛システム発注決定

経済

中央銀行, 今後3年間の成長率を3.4%と予想
 2014年の財政赤字は3.2%
 3月の平均賃金上昇率は4.9%
 3月の鉱工業生産は更に増加
 3月の消費は大きく上向く
 ポーランドのアフリカ向け輸出が増加
 石炭に関する戦略を三か月以内に発表ー国有財産省
 コモロフスキ大統領がコジェニツェの火力発電所建設現場を視察
 ポーランドはエネルギー投資が活況

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

PO, 世論調査でPiSをリード【20日】

20日に発表された世論調査機関TNSポーランド社の政党支持率調査によると(対象963名), 与党・市民プラットフォーム(PO)が35%の支持を得て, 最大野党「法と正義」(PiS)の30%を上回った。この他

の政党については, 農民党(PSL)及び民主左翼連合(SLD)が6%, KORWiNが4%, みんなの運動が1%の支持を得ている。

外交・安全保障

ワルシャワにて第3回ポーランド・中国戦略対話を開催【17日】

17日, カツペルチク外務次官はワルシャワを訪問中の王超中国外交部副部長と第3回ポーランド・中国戦略対話を実施した。同戦略対話の前に行われたスヘティナ外相及び王副部長との会談では, 二国間関係及び中欧16カ国と中国との「16+1」協力につき意見交換が行われた。スヘティナ外相は, ポーランドは中国との戦略的パートナーシップを発展させることを重視している旨述べた。

スヘティナ外相, EU外務・内務合同理事会に出席【20日】

20日, スヘティナ外相はEU外務・内務合同理事会に出席し, 地中海における不法移民の問題に関する議論に参加した。同外相は, EUが今次合同理事会会で提示された移民問題に即時対処するための10項目の計画を採択するならば, ポーランドは同計画履行のための準備を行わなければならない, 本件問題はポーランドにとっての課題でもある旨述べた。

ポーランド政府, 米FBI長官の発言に反発【19日】

15日にコミー米国FBI長官がワシントンのホロコースト博物館におけるスピーチにてポーランドがホロコーストの加害国であるかのような発言を行ったことを受けて, 19日, 外務省はマル駐ポーランド米国大使を同省に召喚し, 右発言に抗議する内容の口上書を手交した。また同日, コモロフスキ大統領は, FBI長官の発言は戦争中にユダヤ人を助けた多くのポーランド人を怒らせるものであり, 無知, 歴史に関する知識不足である旨述べた。23日, コミーFBI長官はシュネプフ駐米ポーランド大使に対し, 自身の発言を後悔し, ポーランドがホロコーストへの責任を有していないとの認識を明示する内容の書簡を手交した。

スヘティナ外相, エストニア外相と会談【22日】

22日, スヘティナ外相は, ワルシャワを訪問中のペントウス＝ロシマヌス外相と会談を行い, EU東方パートナーシップの今後の展望, 5月にリガで開催予定の同パートナーシップ首脳会合, バルト地域の安全保障情勢を中心に意見交換した。

米ミサイル防衛システム発注決定【22日】

21日, コモロフスキ大統領は, 当国防省が米国と交渉を続けていたパトリオット地对空ミサイル防衛システムを発注すると発表するとともに, 短距離対空システム, 無人航空機及び海軍装備の購入予定について述べた。また, ムロチェク国防副大臣は, ヘリコプター購入計画に触れ, 仏社エアバスのみが入札条件を満たしており, 同社製のヘリコプター50機を購入する予定である旨発表した。本発表に続き, シェモニャク副首相兼国防相とストルテンベルグNATO事務総長の電話会談を行い, シェモニャク副首相兼国防相が本件に関するポーランド政府の決定を通報し, ストルテンベルグNATO事務総長は, ポーランド政府の本決定並びにポーランド及び同盟国の防衛能力の強化を支持する旨述べた。

コパチ首相, チェコを訪問【20日】

20日, コパチ首相はチェコを訪問し, ソボトカ首相との間で第三回政府間協議を実施し, 主に交通・エネルギー・インフラに関し意見交換した。同協議後, コパチ首相は, ポーランド・チェコ両国は二国間をつなぐガス・パイプラインの建設に合意した, 2016年までにEU基金の申請手続きを行う旨述べた。また, 両首相は, ウクライナ情勢, 対露関係, 北アフリカからEUへの移民の問題等についても意見交換した。

経 済

経済・財政政策

中央銀行, 今後3年間の成長率を3.4%と予想【16日】

ポーランド国立銀行は, 最新の経済予測を発表し, 2015—17年のGDP成長率を, 毎年3.4%とした。

インフレ率については, 2015—17年で-0.4%, 1.4%, 2.1%と毎年上昇すると予測している。失業率は, 3年間で10.9%から10.3%に改善され, 為替相場は1ユーロ4.1ズロチから3.9ズロチへと

増価すると見られている。今後の不安要素としてはロシア危機の規模により、消費等の国内需要が影響を受ける可能性があるとしている。また、中央統計局も、最新の経済予測で2015年の成長率を3.3%から3.4%に上方修正した。

2014年の財政赤字は3.2%【17日】

2014年の財政赤字の対GDP比率は、2013年の4.0%から大幅に減少した3.2%となっている。公的年金制度改革により、公的債務残高は8,665億ズロチまで減少し、対GDP比率も前年の55.7%から50.1%に減少している。

マクロ経済動向・統計

3月の平均賃金上昇率は4.9%【17日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の前年同月比で4.9%増となる4,214.14ズロチであった。前月比では5.8%の増加。雇用者数は前年同月比1.1%増、前月比0.1%増となる5,575,600人。

3%から大きく増加した13.4%となっている。また、季節調整後の数値は、前年同月比で6.0%、前月比で0.8%。

3月の鉱工業生産は更に増加【20日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の鉱工業生産は、前年同月比で2月の同4.9%増より更に増加した8.8%増となっている。前月比でも2月の同1.

3月の消費は大きく上向く【20日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の小売販売は、前年同月比で2月の1.3%減から上昇した3.0%となっている。実質ベースでは、3.0%増。前月比では2月の2.0%減から大きく上昇した17.4%増。

ポーランド産業動向

ポーランドのアフリカ向け輸出が増加【21日】

カツペルチク外務次官はカトヴィツェで開催された国際会議において、ポーランドのアフリカ向け輸出が2012-2014年の3年間で37%の増加となったことを紹介した。同次官は、官民ともにポーランド人のアフリカ

に対する姿勢が変わってきたと述べ、政府がアフリカ諸国との相互のミッション受け入れを支援してきたと述べ、今後農業やIT、エネルギー、インフラ等の分野での協力が進展すると述べた。

エネルギー・環境

石炭に関する戦略を三か月以内に発表—国有財産省【22日】

国有財産省コヴァルチク副大臣は、カトヴィツェで開催された国際会議において、この三か月の間に石炭(Hard Coal)に関する戦略を発表すると述べた。現在、エネルギー安全保障、環境及び労働安全に関する3つのチームが作業をしているという。

素削減基準にも適合するものであると述べた。本プロジェクトは、ENEA社の保有するコジェニツェ発電所の11号機を新設するもので、三菱日立パワーシステムズ社とポーランドのPolimex社のコンソーシアムが現在建設を進めている。

コモロフスキ大統領がコジェニツェの火力発電所建設現場を視察【16日】

16日、コモロフスキ大統領はコジェニツェ石炭火力発電所を訪問し、建設中の新ユニットを視察した。同大統領は、この建設プロジェクトについてポーランドのエネルギー安全保障及びポーランドの石炭部門の将来に向けての投資であると述べた。さらに、この投資が欧州でも最大級のものであり、EUの二酸化炭

ポーランドはエネルギー投資が活況【22日】

カルピンスキ国有財産大臣は、カトヴィツェで開催された国際会議において、同大臣は、国有エネルギー企業が2020年までに250億ユーロに上る投資計画を有していることに触れ、ポーランドのエネルギー部門は投資ブームの最中であると述べた。また、ポーランドのエネルギー部門の省エネルギー化を進めることにより、先端技術を伴う投資へと変わっていくべきであると指摘した。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf> にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無

料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 ロジカル・エモーション—日本現代美術展【～4月26日(日)】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, クラクフ現代美術館, ul. Lipowa 4

詳細: <http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】

クラクフ市にて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】 2015 IIHF アイスホッケー世界選手権ディビジョンIグループ【4月19～25日(日～土)】

クラクフ市の TAURON アリーナにてアイスホッケー世界選手権ディビジョンIグループが開催されます。日本、ポーランド、イタリア、ハンガリー、ウクライナ、カザフスタンのチームが参加します。試合のスケジュールについては、ホームページ (<http://pzhl.tv/terminarz/>) をご覧ください。4月20日(月)20時からは日本対ポーランド戦が行われます。

開催場所: クラクフ, Tauron Arena, ul. Lema 7

チケット購入サイト:

<https://www.ebilet.pl/tekst.php?id=14611>

グループチケット等の割引のお問い合わせ:

hokej@ebilet.pl

agnieszka.wisniewska@ebilet.pl

【予定】 第12回無声映画祭【4月23～26日(木～日)】

ワルシャワの映画館 Iluzjonにて「第12回無声映画祭」が開催されます。日本映画には活動弁士の片岡一郎氏が出演され、音楽家による演奏も行われます。各映画入場料 25PLN。

日本映画上映スケジュール:

24日(金)18:30 「雄呂血」(二川文太郎監督, 1925年)

25日(土)18:00 「子宝騒動」(斎藤寅次郎監督, 1935年)

25日(土)18:00 「雷電」(マキノ省三監督, 1928年)

開催場所: ワルシャワ市イルジヨン映画館「Iluzjon」, ul. Narbutta 50a

詳細: <http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/495/12th-silent-movies-festival.html>

【予定】第9回ウッチ大学日本文化デー【4月25～26日(土～日)】

ウッチ市にて八雲琴クラブ協会主催による第9回ウッチ大学日本文化デーが開催されます。日本についての講義の他、日本文化に関するワークショップが予定されています。

開催場所: ウッチ市, ウッチ大学, ul. Rewolucji 1905 roku 41

詳細: http://yakumo-goto.pl/dni_japonskie.html

【予定】日本の子供の日【4月26日(日)】

ワルシャワにて、ワルファンデーション「ちびワル」主催による「日本の子供の日」が開催されます。鯉のぼりやかぶと作りなどで日本の風習を学ぶことができます。

開催場所: ワルシャワ, Pardon To Tu, Plac Grzybowski 12/16

詳細: <https://www.facebook.com/fundacjachibiwaru?ref=ts&fref=ts>

【予定】中東欧書道コンクール 2015【5月1～15日(金～金)】

ワルシャワ日本語学校、ポーランド日本語教師会共催によるイベント『中東欧書道コンクール 2015』が開催されます。応募締切は5月15日。展示会が6月から予定されています。

詳細: <http://wsjj.pl/pl/menu/konkurs-kaligrafia/>

問合せ先: japonia.polska@gmail.com

【予定】ポーランド柔術アカデミー設立25周年記念行事【5月2～3日(土～日)】

イエレニャ・グラ市にて、イエレニャ・グラ柔術協会主催による、第19回ポーランド柔術アカデミー・ポーランド選手権及び第19回ポーランド柔術組手選手権大会が行われます。ポーランド柔術アカデミー設立25周年記念における日本文化デーも開催されます。

開催場所: イエレニャ・グラ, Park Sportowy Złotnicza Jelenia Gora, ul. Złotnicza 12

詳細: <http://jujitsu.jgora.pl/xxv-lecie-akademii/>

【予定】日本関連学会「日本の男性」【5月8～9日(金～土)】

クラクフ市にて、ヤギエロン大学極東学術サークル主催による学会『日本の男性』が開催されます。日本社会における男性の役割や地位についての講義が予定されています

開催場所: クラクフ, ul. Mickiewicza 22

詳細: https://pl-pl.facebook.com/events/692772970841608/?ref=3&ref_newsfeed_story_type=regular

【予定】第11回駅伝大会【5月9～10日(土～日)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワマラソン基金主催による駅伝大会が開催され約750チームが参加します。大会期間中、折り紙、日本の遊具体験コーナー、浴衣の着付け、書道等の日本文化体験ブースが開催されます。

開催場所: Szczesliwicki 公園 (Agrykola から変更となりました。)

詳細: <http://www.ekiden.pl/>

【予定】シェークスピア劇場ジャパン・ウィークエンド【5月15～17日(金～日)】

グダンスクにて、グダンスク・シェークスピア劇場主催による「ジャパン・ウィークエンド」が開催されます。劇団 柘の実・五十田安希主演「マクベス夫人」「オフィーリア幻想」公演のほか、日本伝統芸能についての講義、能のパフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: グダンスク, ul. Wojciecha Boguslawskiego 1

詳細:

http://www.teatrzeskspirowski.pl/article/repertuar/maj//index.php?id_item_tree=7ebc485f21c2555bbd1fde42dcd9c1cb

【予定】そろばんコンクール【5月23日(土)】

ツェグウフにて、そろばんアカデミー主催による「そろばんコンクール」が開催されます。

開催場所: ツェグウフ, ul. Poprzeczna 27

詳細: <http://konkurs.akademiasorobanu.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)